

友引市へは「名鉄で」

幅豆町のまちおこしと名鉄の利用促進を図る物産展「幅豆・友引市」(中日新聞社など後援)が十九日午前九時から午後三時まで、同町西幅豆の祐正寺と約百戸東の酒造会社「山崎」で開かれる。(広中康晴)

19日 幅豆で物産展

乗客減で存続が危ぶまれる名鉄西尾・蒲郡線の利用と三河湾の環境を考えるNPO法人「幅豆・三河湾ねっ」との主催。二〇〇七年から春、秋に開催しており、六回目の今回

電車利用町が初調査

は来場者の名鉄利用状況を町が初めて調査する。名鉄利用者には、地元の名産などが当たる抽選券を、同寺近くの西幅豆駅で配布する。

同寺境内では、沖縄民謡などのバンド生演奏(午後一時)や、七チームが出場する「よさこいソーラン」の踊り(午前十時)を披

露。地元の陶芸作家に出品展、巨大布絵展もある。酒接待などが行われる。

西尾支部有志による作着(二十人)や試飲、甘

う、クラフトをはじめ、山崎では酒蔵開きがあり、問い合わせは、祐正和菓子などの食品を販売する。中日写真協会 時の三回開催。各回先

め、豆みそやケーキ、あり、寺にある同ねつと事務

前十、十一時、午後二局 電0563(62)

2230へ。



幅豆・友引市で販売する商品を手に来場を呼び掛ける地元の人たち＝幅豆町の祐正寺で